9月市議会定例会 市長説明

9月市議会定例会が、市役所本庁舎議場で9月3日㈫から10月2日㈬までの30日間の会期で開催されました。
初日に行われた市長説明の概要をお知らせします。

問合せ　総務課☎89・2113

❑指定管理者制度運用の見直し…

市では第2次能代市行財政改革大綱で指定管理料のあり方の検討を行うことにしています。

指定管理料については、令和2年度から導入が予定されている会計年度任用職員制度を踏まえた人件費積算の算定基準の見直しなどが必要となるほか、現在指定管理を行っている団体から「能代市指定管理者制度運用に関する要望書」が提出されていますので、これらを踏まえ、指定管理料の見直しについて検討を進めているところです。

❑能代市消防団の再編……

人口減少や団員のサラリーマン化などにより、現在の消防団活動を継続することが厳しい状況にあることから、市では、平成30年10月に能代市消防団組織の見直し等に関する検討委員会を設置し、7月30日には、検討結果が報告されました。消防団では、検討委員会の報告書をもとに、地域の皆さんのご意見を伺いながら、分団の統合再編や、それに伴う資機材の有効活用などに関する考え方を取りまとめ、市に提出されています。

市としましては、検討委員会の報告書および消防団の意向を踏まえ、議会のご意見も伺いながら、今年度中に再編計画を策定し、3年間の移行期間を経て、令和5年4月に再編したいと考えています。

❑能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略……

平成27年度に策定した総合戦略の推進期間が今年度末までとなっていることから、現在、施策の検証とともに、各種アンケート調査の集計作業などを進めています。

また、国では6月に次期総合戦略の基本方針を閣議決定し、12月末までに総合戦略を策定することにしており、市としましては、切れ目のない取り組みを進めるため、今後策定される県の総合戦略も踏まえ、能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議や議会のご意見を伺いながら、次期戦略を策定したいと考えています。

❑能代北高校跡地の利活用……

平成26年度から「6の市」などでイベントを実施しながら活用調査を行ってきたほか、29年度と30年度には市民意識調査などで意向調査を実施しています。これらを踏まえ、改めて市として必要な施設や機能を検討するため、30年度から庁内検討会議を設置するとともに、今年度は民間関係者や有識者などのご意見を参考にしながら、利活用の方向性について協議を進めています。その内容ですが、集客機能や交流機能を有する複合施設等を検討しており、今後、民間の動向なども注視しながら、具体化に向けて検討を続けていきます。

❑東能代中学校跡地の利活用……

平成26年12月市議会定例会で地元団体からの陳情書が採択され、27年12月には地元団体から提案書が提出されています。市では、28年度に、提案を庁内で検討するとともに、地元の皆さんと意見交換を実施しています。

また、公共施設や公共用地の基本的な考え方について、28年度に策定した能代市公共施設等総合管理計画および29年度に策定した第2次能代市総合計画の中で整理しています。これらを踏まえ、改めて幅広い視点から検討するため、30年度から庁内検討会議を設置し、利活用の方向性について検討を進めています。

その内容ですが、地元団体の提案と類似機能を有する扇淵地域センターおよび東部公民館は、今後老朽化が進むことが見込まれることから、将来的に東中跡地に移転し、東能代地域の地域センターおよび東部地区の公民館として整備することを基本としたいと考えています。今後、地元の皆様と意見交換を実施しながら、具体化に向けて検討を続けていきます。

❑科学自然都市協創連合
～宇宙開発発祥の地から繋ぐコンソーシアム～

7月23日、日本におけるロケット開発の父　糸川英夫教授が所属していた国立大学法人東京大学生産技術研究所の設立70周年を契機として、同研究所とロケット研究にゆかりのある本市の

ほか、由利本荘市、千葉県千葉市、東京都杉並区、国分寺市、鹿児島県肝付町がコンソーシアムを設立するとともに、まちづくりや産業振興等に関する協定を締結しました。本コンソーシアムは、科学技術を活用して夢と活力のある社会を形成することを目的としており、市としましては、参加することで築かれるネットワークを最大限に活用させていただき、特色ある地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

❑小規模校統合後の空き校舎などの利活用…

4月に閉校となった旧崇徳小学校、旧鶴形小学校および旧常盤中学校、来年4月に閉校予定の朴瀬小学校、竹生小学校および常盤小学校について、それぞれ地域の皆さんとの意見交換を続けながら、利活用に向けた検討を進めているところです。

この中で、旧鶴形小学校の利活用については、地元から鶴形地域センターの移転などが要望されており、同センターの老朽化を見据え、要望内容を精査しながら、地元の皆さんと市の関係職員による検討会を設け、具体化に向けて協議を進めていきます。

また、旧崇徳小学校の利活用につきましては、5月と8月に地元団体から要望書が提出されており、これらも踏まえながら、今後検討を進めていきたいと考えています。

なお、既に閉校している両校につきましては、本格的な利活用の方向性が定まるまでの間は、地元住民の方々を中心に、体育館などを暫定的に利用していただくことにしています。

❑「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」に基づく促進区域になり得る有望な区域の選定……

7月30日に、一般海域における洋上風力発電事業を進めるため、協議会の組織などの準備を直ちに開始する有望な区域のひとつに「能代市、三種町および男鹿市沖」が選定されました。今回の選定は、これまでの能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会における県北地域が足並みをそろえた取り組みなどが評価されたものと考えており、これまでご尽力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

市としましては、引き続き、促進区域の指定に向け、期成同盟会を中心に取り組みを進めていきます。

❑洋上風力発電のヨーロッパ先進地視察……

7月1日から5日までの日程で、デンマーク王国のエスビアウ港およびドイツ連邦共和国のブレーマーハーフェン港等を視察してきました。埠頭での洋上風力発電設備の事前組立の状況や洋上風力発電の据付工事で使用される作業台船の乗船体験、大手風力発電機メーカーの工場や洋上風力発電所も視察したほか、港湾関係者と意見交換しています。現地では、自然環境や生活環境への影響について、特に問題になっていないとのことでありました。今回の視察で得た知見を活かすとともに、市民の皆さんのご理解をいただきながら、引き続き、能代港の洋上風力発電の拠点化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

❑能代産業廃棄物処理センター…

7月3日に開催された環境対策協議会で、県から、今年度の環境保全対策等について説明がありました。その後、県は7月9日から、ナンバー2処分場でドラム缶が残存している地点の西側3地点、南側7地点で、自然地盤が確認できる深さまでボーリングを実施し、26日に終了しています。

現在、採取した廃棄物などを分析中であり、その結果がまとまった後に同協議会に報告する予定と伺っています。市としましては、今後も住民の皆さんとともに、環境保全対策に向け、県と協議していきたいと考えています。

❑（仮称）イオン新能代ショッピングセンター…

イオングループのディベロッパー部門の責任者から、市に対して報告がありました。その内容ですが「建設予定地の地盤改良を継続して実施しており、並行して建設に向けてスケジュールや店舗構成などの具体的な計画を検討している」とのことです。

元年度9月補正予算

単位：千円

	現計予算	補正額	補正後予算
一般会計	27,567,170	530,830	28,098,000
特別会計			
檜山財産区	3,425	346	3,771
国民健康保険	5,772,032	16,796	5,788,828
後期高齢者医療	634,113	876	634,989
介護保険	7,920,821	195,088	8,115,909
企業会計			
水道事業	2,232,828	1,255	2,234,083

一般会計9月補正予算の主な歳出

単位：千円

財政調整基金積立金	353,321
減債基金積立金	28,495
普通財産管理費	6,279
総合戦略策定費	1,386
市税等過年度還付金	6,928
●過年度国庫負担金等返還金	25,900
介護保険特別会計繰出金	1,202
すこやか子育て支援事業費	3,735
子ども・子育て支援事業費（施設型給付費・委託費）	31,112
生活困窮者就労準備支援事業費	7,040
商店街活性化対策事業費	4,122
●個人番号カード利用環境整備事業費	2,792
木のまちづくり推進事業費	4,500
大館能代空港利用促進事業費	5,400
浄化槽整備事業特別会計（市町村設置型）繰出金	△1,072
道路維持費	24,300
改良事業費	8,600
ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業費	12,400
中学校管理費	1,714
管理運営費（文化会館）	1,296

（●は新規事業）